

ホームホスピス実践者育成塾



開講のお知らせ

一般社団法人 全国ホームホスピス協会

ホームホスピスは単に「家」というかたちにとどまらず、地域全体に働きかけるホスピスムーブメントの拠点です。今、その理念、目的、かたちに共感した人たちによって、全国各地に開設され、ムーブメントの輪が徐々に広がろうとしています。

ホームホスピスは「生えてきた」と表現されるように、開設された地域の風土、土壌にかなう「家」でなければ健やかに育っていきません。一方で、制度の枠にとらわれないという性格上、開設された地域の条件や開設する人たちの思いによっても、そのかたちやケアの内容に幅と濃淡が出てきます。私たちは、均一化は求めず、それぞれの個性を大切にしたいと思っています。しかし、であるからこそホームホスピスの質の担保が重要と考え、協会では、一昨年（2015年）、「ホームホスピスの基準」をつくり、昨年からレビューを導引し、より具体的に相談を受けたり、助言したりする機会とし、認定ホームホスピスという制度を設けました。今年はさらに一歩進んで少人数の合宿形式で実践者育成塾をひらくことにしました。

対象は、日本財団のリーダー養成講座の研修生、すでに開設しているホームホスピスの運営・管理者、またスタッフにも参加してもらいたいと考えています。ホームホスピスの理解者であり、それぞれ専門分野での仕事が高く評価され、素晴らしい社会活動を展開されている方々を講師に迎え、ホームホスピスへの考えを深め、自身の活動を振り返る機会にしたいと思っています。

裏面のプログラムにしたがい2回に分けて、1回目は〈理念・運営〉について1泊2日、2回目は〈ケアの実践〉について2泊3日で実施いたします。ご参加をお待ちいたします。

■対象受講者：平成29年度在宅ホスピスリーダー養成研修生
全国ホームホスピス協会の会員

開催日時

第1回 総論

2017年5月7日(日) 10:30～17:40 夜ワークショップ 18:40～20:30

5月8日(月) 9:00～15:30

開催場所：神戸ポートピアホテル

受講費用：40,000円 〈研修費 20,000円・宿泊費 20,000円（1泊2日・4食）〉

第2回 各論とまとめ

2017年6月3日(土) 13:30～18:00

6月4日(日) 9:30～17:30

6月5日(月) 10:00～15:00

開催場所：3日・4日 コテージひむか / 5日 ホームホスピス宮崎暮らしの保健室

受講費用：40,000円 〈研修費 20,000円・宿泊費 20,000円（2泊3日・6食）〉



ホームホスピス実践者育成塾は日本財団の助成を得て開きます。

【目 的】

1. ホームホスピスを開設したいと考えている人だけでなく、ホスピスリーダー研修を受けずに、すでにホームホスピスを開設した運営者・スタッフのフォローアップ研修とし、ホームホスピスの理念と運営、ケアの実際について学び、広い視野をもって活動できる能力を養う。
2. ホームホスピスに関する多方面からの講義を聴き、自分の考えを深める機会とする。
3. ホームホスピスの運営には、利用者の確保、地域とのつながり、自治体との関係づくり、消防法や建築基準法などへの配慮と対処、経済的負担など多くの課題がある。今から開設する人は、運営者としてその課題に取り組むための姿勢を学び、すでに開設している人は、これまでを振り返り、現状を認識し、今後のよりよい運営につなぐ機会とする。

第1回 総論 2017年5月7日(日)～5月8日(月) 神戸会場

	時 間	テーマ	講座概要	講 師
総論 ① 5月7日 ホームホスピスの理念	10:30～12:00	ホームホスピスとは何か	ホームホスピスの目指すところ。理念を具現化していく道のりと実際。市民運動としての取り組み。看取りの文化の復活、など。	市原 美穂 (全国ホームホスピス協理事長)
	13:00～14:30	ホスピスとは何か	ホスピスの本来の意味と役割、市民運動としてのホスピスについて。また、医療との関わりについて学ぶ。	二ノ坂 保喜 (にのさかクリニック院長)
	14:40～16:10	環境と空間	既存の家を活用するホームホスピスのスタイルを「住まい」の意味から考える。空間と環境のもつ力を学び、開設にあたって必要な基礎知識を習得する。	園田 真理子 (明治大学理工学部建築学科教授)
	16:20～17:40	地域包括ケアシステムとホームホスピス	地域包括ケアシステムについて学び、ホームホスピスの位置付けと市民運動としてのホームホスピスの活動を考える。	高橋 紘士 (高齢者住宅財団理事長)
	18:40～20:30	ワークショップ	テーマ・ホームホスピスとは何か？ 育成塾初日に学んだことを基に、自分自身の考えをまとめ、それを発表して、参加者全員と分かち合い、学びを深める。	〈司会〉 市原 美穂

総論 ② 5月8日 ホームホスピスの運営	9:00～11:00	運営マネジメントと組織づくり	健全なホームホスピスを維持するための運営方法。住人の権利擁護について。人材育成—自ら考え、行動できるスタッフを育てるための教育計画の立て方、など。	新津 ふみ子 (NPO法人メイアイヘルプユー理事長、日本社会事業大学大学院教授)
	11:00～12:00	NPO法人について	NPO法人の立ち上げと運営方法など知っておきたい基礎知識を習得する。	黒岩 雄二 (全国ホームホスピス協会事務局長)
	13:00～14:30	経済的な基盤づくり	助成金確保のコツ(助成企業の見つけ方、書類の書き方など)。寄付(ドネーション)の文化を啓発し、地域に広める。	樋口 千恵子 (たんがくの家)
	14:30～15:30	地域・社会への発信	広報スキルとメディアの使いこなし方	岡本 峰子 (朝日新聞社前橋総局長)

第2回 各論とまとめ 2017年6月3日(土)～6月5日(月) 宮崎会場

	時間	テーマ	講座概要	講師
各論 ① 6月3日	ホームホスピスのケア	生活を支える在宅医療	ホームホスピスにおける在宅医療の役割と連携について学ぶ。	市原 美宏 (いちばら医院院長)
		嚥下機能と口腔ケア	食べる力の維持と回復を目ざす口腔ケアの意義と方法。	宇都 仁恵 (ひとえ歯科クリニック院長)
		家族支援	家族支援の理論と実際。	竹熊 千晶 (われもこう)
各論 ② 6月4日	ホームホスピスのケア	ホームホスピスのケアの概論	暮らしを整えるケアとは何か。理論と実際について学ぶ。	松本 京子 (神戸なごみの家)
		看護・介護の連携協働	看護と介護、それぞれの役割を理解して、連携し、協働する。	
		排泄のケア	排泄の習慣を整える意義とケア。	榊原 千秋 (ややの家)
		ADLを上げて暮らしをよくするためのリハビリテーション	シーティング、ポジショニングの実際	金子 茂穂 (作業療法士・宮崎県作業療法士会・事務局長)
		作業記録の書き方	記録の種類とその目的、記入方法について	祐末 めぐみ (かあさんの家)
各論 ③ 6月5日	まとめ	高齢者ソフト食	なぜ、今ソフト食なのか。調理と試食	黒田 留美子 (農学博士・管理栄養士。高齢者ソフト食研究会会長)
		研修成果の発表	テーマ：私のつくりたいホームホスピスとは。育成塾での学びを基に自らの考えをまとめる	〈司会〉 兼行 栄子 (愛逢の家) 久保野 イツ子 (かあさんの家)
		全体のまとめ	受講生からの質疑応答	市原 美穂 (協会理事長)

* 研修受講は宿泊を原則とする。

* リーダー研修予定者は第1回・第2回すべてのプログラムを受講する。

* フォローアップ研修受講者は第1回と第2回のすべての受講ができない場合は2回に分けて、翌年、残り受講も可能。受講1日について10単位とする。

* 各論(2回目)研修に引き続き「かあさんの家」でフォローアップ研修を希望する方は、事務局にお申し出ください。

* なお、プログラムに若干の変更(講師/時間帯)の可能性もあります。

講師紹介

二ノ坂 保喜	にのさかクリニック院長 バングラデシュと手をつなぐ会会長	福岡市に開院。以来、在宅ホスピスに熱心に取り組み、2014年「赤ひげ大賞」受賞。ホスピス運動だけでなく、バイオエシックスなど幅広く人権活動に取り組む。バングラデシュと手をつなぐ会の活動を通して、現在、バングラデシュに看護学校を建設中。障害児のためのデイサービス「小さなたね」開設。
園田 真理子	明治大学理工学部建築学科教授 当会理事	1993年千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了。市浦都市開発建築コンサルタンツ、日本建築センター勤務後、1997年より明治大学工学部建築学科専任講師、同大学助教授を経て、2009年より現職。
高橋 紘士	高齢者住宅財団理事長 当会理事	特殊法人社会保障研究所研究員、法政大学、立教大学、国際医療福祉大学大学院等の教授を経て現職。ケア政策、地域福祉の領域が専門分野。現在は「住まい」という視座から地域包括ケアに取り組み、各地の福祉現場を視察、提言する。
新津 ふみ子	NPO 法人メイアイヘルプユー理事長 日本社会事業大学大学院教授	メイアイヘルプユーの活動を通して、特定非営利活動法人や独立型社会福祉事務所など小規模事業所の設立と事業展開を支援、また、福祉サービス事業所の人材育成、福祉サービス第三者評価の実施とサービスの質向上に寄与する。
岡本 峰子	朝日新聞社前橋総局長 当会監事	ジャーナリスト。朝日新聞社に入社以来、教育や障害者福祉、少年事件を積極的に取材。後に厚生労働省担当となり、医療制度や介護保険の政策決定過程を追う。社会保障・労働問題担当の論説委員を経て現職。
市原 美宏	いちほら医院院長	熊本大学医学部卒業。宮崎市内にいちほら医院を開業して以来30年、地域の人とともにある医師として在宅医療に取り組んできた。「宮崎にホスピスを」ではなく「宮崎をホスピスに」を提唱する。「かあさんの家」のかかりつけ医。
宇都 仁恵	ひとえ歯科クリニック院長	鹿児島大学歯学部卒業。宮崎市内に開業。「最後まで口からものを食べたい」という患者・家族の思いを汲んで、日々の診療のほかに訪問歯科診療や介護職や家族に向けた講演など積極的に行う。日本障害者歯科学会認定医。
榊原 千秋	合同会社プラスぼぼぼ代表社員。 保健師、看護師、助産師。	コンチネンスケアイノベーションおまかせうんちッチ代表。「いのちにやさしいまちづくりネットワーク」を設立。がん患者・家族の支援活動・聞き書きサークルなど幅広い地域包括への貢献に対して、平成22年度、保健文化賞を受賞。
金子 茂稔	作業療法士 宮崎県作業療法士会事務局長	国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院卒業。宮崎江南病院リハビリテーション部責任者として、形成外科におけるシーティングポジショニング外来に従事。平成26年、株式会社未来図Labo設立。
黒田 留美子	農学博士・管理栄養士 高齢者ソフト食研究会会長	高齢や障害、病気のため嚥下障害のある人が誤嚥しないように、安全性を確保し、かつ、味覚、視覚とも優れた料理の研究、開発を行う。日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術会評議員、NPO法人シルバー総合研究所理事など役職多数。

FAX 0985-53-6054

参加申込書（申込み締切 4月10日）

お名前	所属
-----	----

住 所【自宅 / 勤務先】いずれかに○をつけてください。

電 話

携帯番号（必須）

参加希望講座（フォローアップ研修受講者は希望講座に○をつけてください。）

①総 論（2017年5月7-8日 神戸）

②各論とまとめ（6月3-5日 宮崎）

上記にご記入の上、FAXして下さい。e-mailでお申込みの方は、上記の要項をご記入の上、お申し込みください。事務局より振り込み口座などお知らせします。

〈お問合せ先〉

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局 〒880-0913 宮崎市恒久 2-19-6
TEL 0985-53-6056（月～金 / 10:00～17:00） FAX 0985-53-6054 e-mail office@npo-hhm.jp